

## 道の駅 中井の丘

0714044 小林 寛幸 (指導教員 八尾廣)

### 提案趣旨

敷地は神奈川県西部の中井町にある中央公園の一角。公園内には遊びの広場、パークゴルフ場、水辺の広場、多目的広場、野球場があり、毎日利用者は多い。また、前面道路から西側を見ると山並みが美しく、富士山もよく見え、ロケーションに恵まれている。公園内に建っている建物は、パークゴルフの待機所、土曜、日曜のみ営業の直売所、プレハブの管理棟のみ。また、飲食物の売り場がなく、持ち込まなくてはならない。公園利用者に聞き込みをしたところ、「公園内に飲食物売り場が欲しい」との声が一番多く上がった。また、東名高速道路 秦野中井 I.C から約 5 分、小田原厚木道路 二宮 I.C から約 10 分の位置に公園があるため、ドライバーの休憩場所としても使われている。これらから、町の景色を活かした道の駅を建て、町を活性化しよう考えた。



図 1 敷地地形図



図 2 遊びの広場



図 3 西側のロケーション



図 4 パークゴルフ場



図 5 水辺の広場



図 6 多目的広場



図 7 野球場

～今回必要な道の駅の施設～

- ・フードコート(特産品を使った手軽な料理を提供)
- ・レストラン(特産品を使い、一手間かかった料理を提供)
- ・多目的会館(休憩所、会議室、名所、観光地案内所)
- ・パークゴルフ館(受付、待機所、用品店)
- ・物産店(野菜、加工品を販売)
- ・外トイレ

### コンセプト

- 1.色々なかたちで景色が見られる道の駅
- 2.良い景色を求めて丘を登る

### 中井町を活性化

#### 1.特産物から活性化

中井町は多くの野菜が取れる。マルハン食品株式会社からこれらの野菜を使い、無添加にこだわった商品がいくつかある。このような、ここでしか手に入らない商品を物産店、フードコート、レストランで提供し、人を呼び込む。

#### 2.パークゴルフから活性化

中央公園のパークゴルフは有名で、遠方から来る人もいる。必要な道具は一式レンタルできるが、個人でそろえたい人も多い。既存の休憩所は、バンガローのような作りであり、時間の流れがゆっくりと感じる空間になっている。その空間の雰囲気そのまま移し、約 200m 先にあるコースも眺めることができるように二階建てにした。さらに用品店を設け、来園者の増加をはかる。

### 3.風景から活性化

中央公園の売りは、富士山の見える景色であり、関東の富士見百景の一ヶ所である。道の駅の所々に富士山の景色を、いろいろな形で見ることでできる場所を提供し、さらによい景色を求め、憩いの広場に人が集うようにした。

#### 3.1 フードコートから憩いの広場へ

フードコートを透明な空間にし、入り口正面を吹き抜けにすることで、富士山や奥に広がる憩いの広場を見えるようにし、その雰囲気誘発された人が人を呼び、憩いの広場に集まるようになっている。



図8 正面からの憩いの広場 図9 フードコート内部

#### 3.2 多目的会館

二階にある半個室に、奥行き長いソファを置き、西側をガラス張りにすることで、横になった状態で風景を眺めることができる。



図10、11 二階休憩スペースからの景色

#### 3.3 物産店から休憩スペースそして憩いの広場へ

既存の直売所の中の配置はそのままにし、加工品も販売できるよう売り場を広げた。レジの後ろにある開口を他の開口より大きくとり、その違いに注目させ、そこから見えるスロープの休憩スペースに向かわせる。さらに憩いの広場に向かわせる。



図12 西側スロープと多目的会館 図13 憩いの広場



図14、15 スロープ途中の休憩スペース

#### 3.4 レストラン

富士山の方向に向けて建て、テラスを設置。テラスを水で囲み、浮いたような感覚が味わえ、さらに水面に富士山が映し出される。また木の高さを低くし、富士山だけをきれいに見ることができるため、写真に撮りたくなるような景色をつくった。二階は団体客用の個室を配置。西側をガラス張りにし、下から90cmを磨りガラスにすることで、二階からも富士山だけをきれいに見ることができる。



図16 カーテンウォールの富士 図17 テラスの景色



図18 水面に映る富士 図19 レストラン内部

#### 中井町を知る空間

##### キンモクセイ広場、キキョウ畑

外トイレの前に、待ち合わせ場所としての空間に町の木を植え、また、レストラン、パークゴルフ館を憩いの広場へと繋ぐ空間に町の花を植え、中井町を知る、感じる空間をつくった。



図20 キンモクセイ広場 図21 キキョウ畑